



1. 第24回全国大会・開催のご連絡（2016年11月5日（土）、東京大学 山上会館）

2016年11月5日（土）、東京大学 山上会館（〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1）にて、第24回全国大会が開催されます。積極的にご参加のほど、宜しくお願い申し上げます。統一テーマは「IoTと情報文化学(II)」です。以下、大会プログラムとなります。

<受付開始> 9:30～ 大会議室（2階）脇

◆ 大会参加費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）

◆ 交流会費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）

<開会式> 10:00～10:10 大会議室（2階） 挨拶：大会実行委員長/会長 須藤 修

<午前セッション> 10:10～12:10 \*各発表：30分（発表20分、質疑10分）

◆ 第1セッション「メディア産業Ⅰ」（会場：201・202）

座長：樺島榮一郎（青山学院大学）

発表代表者(発表者)	発表者所属	発表題目
竹原希光翔	東京工科大メディア学部	音楽の販売における特典物商法の効果と展望
坂本真理	東京工科大メディア学部	女性ファッション誌の販売戦略
貝沼明華	金城学院大学大学院文学研究科	変身の意識 -コスプレイヤーとキャラクター-
中村隆志	新潟大学	モバイルメディアの秘匿性がもたらす非言語コミュニケーションの国際比較

◆ 第2セッション「地域コミュニティと情報システム」（会場：203）

座長：吉田友敬（名古屋文理大学）

発表代表者(発表者)	発表者所属	発表題目
高橋朋矢	名古屋大学大学院情報科学研究科	地域福祉現場のためのクラウドサービスを活用した情報共有環境の構築
寺嶋一将	岩手県立大学ソフトウェア情報学部	聞き書きの地域アーカイブ活用支援システムの構築

糸永順子	東京大学大学院学際情報学府	地方自治体におけるオープンデータ取り組みに関する考察
服部洋明	名古屋大学大学院情報科学研究科	地方自治体におけるビーコンを用いたオープンデータ利活用基盤の設計と構築

◆ 第3セッション「情報サービス」(会場: 001)

座長: 遠山茂樹 (高知大学)

発表代表者(発表者)	発表者所属	発表題目
村館靖之	東京大学	マルサス『人口論』の批判的検討 -マルテッロ教授のマルサス主義批判の情報文化学的解釈-
本田正美	島根大学	『日経ソフトウェア』の特集に見るソフトウェア開発の技術的動向
寄能雅文	龍谷大学	コア領域と規格技術の間にあるオープンイノベーションの一考察 -情報技術の商品開発の視点から:映像メディア家電メーカーのケース-
村瀬孝宏	中京学院大学中京短期大学部	環境共生型まちづくりのための3次元建物モデルの自動生成

<昼食休憩> 12:10~13:00

<役員会> 12:10~13:00 (会場: 201・202)

<基調講演> 13:10~13:50 大会議室 (2階)

- ・講師: 高木 聡一郎 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授/主幹研究員)
- ・講演テーマ: オープンデータ・シェアリング・ブロックチェーンに見る分散型社会の可能性と課題

<贈賞式> 13:50~14:10 大会議室 (2階)

<選挙管理委員会> 14:10~14:20 (会場: 201・202)

<午後セッション> 14:30~16:00 \*各発表：30分（発表20分，質疑10分）

◆第4セッション「メディア産業Ⅱ」（会場：201・202）

座長：村館靖之（東京大学）

発表代表者(発表者)	発表者所属	発表題目
木村真琴	東京工科大メディア学部	関連市場から考察する，“仮面ライダーシリーズ”の展望
庄司万穂	東京工科大メディア学部	若い女性に向けた国内のファッションショーの現状と展望
渡部春佳	東京大学大学院	文化・創造産業に着目した都市の個性化戦略に関する研究

◆第5セッション「社会情報」（会場：203）

座長：稲垣秀人（城西国際大学）

発表代表者(発表者)	発表者所属	発表題目
後藤晶	山梨英和大学	利他性および信頼の社会経済的基盤：クラウドソーシングによる調査から
符儒徳	開智国際大学	3つの三角形モデルの相互関係について
亀井省吾	産業技術大学院大学	文脈価値創出プロセスにおける文脈認知態様の考察 -開発者とユーザー間の身体知移転を通して-

◆第6セッション「地域情報」（会場：001）

座長：松永公廣（名古屋学院大学）

発表代表者(発表者)	発表者所属	発表題目
村田大輔	東京工科大メディア学部	明治安田生命 J3リーグの現状と今後の展望 -J3リーグが国内に与える影響とプロサッカークラブへの道のり-
田中美有	金城学院大学国際情報学部	被災地復興支援地域メディアに関する情報文化学の構造分析 -理念系・人間系・施設系の見地から-

遠山茂樹	高知大学	地域コミュニケーション行動におけるパーソナル・ネットワーク構造および社会的属性の影響について -高知県下の黒潮町と奈半利町との比較分析-
------	------	---

■ディスカッション「情報文化学」に向けてについては、本年が役員選挙実施年であることによる会場の運営の都合により、実施しない。

<役員会> 会場：201・202 16:10~16:20

<総会> 会場：大会議室 16:20~16:50

<閉会式> 会場：大会議室 16:50~17:00

<交流会> 会場：レストラン・ハーモニー（山上会館・地階） 17:00~19:00

## 2. 会計報告

2014年度 収支決算書

(自 2014/4/1 至 2015/3/31)

収入の部・科目	金額（単位：円）	差額（予算—実績）
入会金・会費	1,002,000	-748,000
広告協賛金	1,125,000	+15,000
大会参加費等	271,000	-29,000
学会誌抜き刷り料	300,000	-50,000
雑収入	457	457
前期繰越金	3,514,888	
<b>収入合計</b>	<b>6,213,345</b>	<b>-811,543</b>

支出の部・科目	金額（単位：円）	差額（予算—実績）
印刷・製本費	850,093	-349,907
事務処理費	500,000	0
通信費	84,450	発送費と合算
発送費	113,899	-1,656
交通費	105,950	-44,050
研究・会議費	28,119	-71,881
消耗品費・雑費	55,383	+24,617
<b>大会運営費</b>		
会場・会議費	176,112	-23,888
印刷製本費	458,967	+8,967
人件費他	120,000	+10,000
<b>支出合計</b>	<b>2,492,968</b>	<b>-447,798</b>

## 2015年度 収支予算書

(自2015/4/1 至2016/3/31)

収入の部・科目	予算額 (単位：円)
入会金・会費	1,550,000
広告協賛金	1,050,000
大会参加費等	300,000
学会誌抜き刷り料	330,000
<b>収入合計</b>	<b>3,230,000</b>

支出の部・科目	金額 (単位：円)	備 考
印刷・製本費	950,000	学会誌
事務処理費	250,000	
通信費	90,000	Web 管理費
発送費	80,000	学会誌
交通費	50,000	
研究・会議費	70,000	基礎研究・支部活動
消耗品費・雑費	30,000	
<b>大会運営費</b>		
会場・会議費	200,000	
印刷製本費	230,000	予稿集他
人件費他	70,000	講師謝礼含む
<b>支出合計</b>	<b>2,020,000</b>	

## 3. 「JIGS 便り」名誉会長 片方 善治 — 転換期なれど、使命は不変 —

現代は人類社会が大きく変化する転換期である。農耕社会から工業社会へ、それに続いた情報社会。このような社会の大変換の流れの中で、さらにいま第4の転換期が到来していると言われ、第4産業革命の呼び名がまかり通っている。ドイツでは「インダストリー4.0」、アメリカでは「インダストリアル・ネット」の掛け声のもと、デジタル革新を進めている。第4次産業革命の行方は末端分野である。しかしその行方がどのようなものであっても、本学会が創立以来の使命としてきた、“世のため人のための学会”の理念は不変である。この理念のもと、学会活動が進められ、今日に至っていることを誇りに思う。

11月5日(土)東京大学で開催される全国大会は、この使命を実現させる集いである。会員の皆さんが、こぞって参加されることを心から願う次第である。